

希望の門出

四月十日午前九時、喜びと希望にみちあふれた約五百名の生徒の入学進学式が行われた。最初朝礼の体型に整列し、それから講堂へ入ったが、長々と號のように長く列を見て人数の少いことになれている一期生は、ずいぶん長い「ア」と思わず声に出すほどだった。中に入り順序に従って生徒は着席し、新しい一年生は講堂にのまれたように身をかくして、さきわ高く床をきかせて先生方と着席されるとやがて式が始まった。第一曲にベレットイ先生の指揮で校歌へ日本語（が）が合唱された。その次に校長先生の御挨拶があった。要旨は次の通りである。

「今日この講堂に諸君の愉快交響を見て大変うれしく思っております。諸君は学校が早く治まればいなと思つていたのでしょう。私もそうで

す。最初に高等学校の一年生に御挨拶申し上げたいと思ひます。諸君はもう三年も前から高等学校入学のこの日を待つていたでしょう。この学校を建てた時に、もうこの日を待つていたのです。諸君はこの三年間よくやりました。このようないい学校が出来たのも、先生方の熱心さと諸君の努力の結果です。しかし中学校と高等学校はまるきり異なるのがあります。ですからしっかりとやつて下さい。この学校の成否は諸君の責任です。このように云うと学校のことはわかりませんが、どうですか。ありません。ここにしっかりと三三三を作れば日本の為、日本の利益となるのであります。ですからよく先生と協力してやつて下さい。大きな希望と、勇気とを持ってやつて下さい。力一杯がんばつて下さい。そうすれば、ますます良い学校となるにちがひありません。

こんどは新入生の諸君に歓迎の言葉を述べたいと思ひます。天も地も諸君を祝福し、諸君の幸福を物語つています。この長い六年間の喜びの道にいそしめると思ふと大喜びでしょう。諸君は喜びにみちているのです。希望を達したからでしょうね。このことは、ひとえに小学校の先生方やあなた方のお父さん、お母さんのおかげであります。故によく感謝の心を表わさねばなりません。それを表わすには一日も早く員の栄光の生徒になりなさい。それには規則正しく

去った人

吉川先生はこの日新築のビンクに塗れた二年間の間に、僕達に学内を置いて又日からの行ふによつて救えぬいた事柄の絶望でした。ではなぜ先生は僕達と別れて広島へ旅立つて行つてしまつたのでしょうか。先生にその事についておろかかいましたら先生は遠慮深く次の床にお話になつ

長瀬港から吸き上げて来る潮風が修院の前の櫻のつぼみをゆすつて居ます。今日は僕達栄光学園の生徒にとつては悲しい事と、楽しい事とがいつしよにおとずれて来な様に思はれます。それは吉川先生が栄光学園を去り離れて広島へ旅立つた事と、新入生が今日入学してくる事です。

吉川先生はこの日新築のビンクに塗れた二年間の間に、僕達に学内を置いて又日からの行ふによつて救えぬいた事柄の絶望でした。ではなぜ先生は僕達と別れて広島へ旅立つて行つてしまつたのでしょうか。先生にその事についておろかかいましたら先生は遠慮深く次の床にお話になつ

行儀よくしなさい、試験の時に何故この栄光に入りたのかと面いたら、この校地に入つたとき生徒の行儀がよく気が付いたからだと答えた人がおりました。行儀とか規則とかは、良い生徒になる道であります。これは外面的なものでなく、心からわかるものです。まあ、これからいろいろの規則をならうでしょうが、一つだけ云つておきます。諸君は栄光の生徒にならうと思つたら、一日に少くとも二時間勉強しなければなりません。こうして員の栄光の生徒になりな

てくれしました。それは今日日本では宗教が大変に盛んです。けれどもその大半が布教と云ふ事が多く、場合外人によりなされて居ます。しかしいつまでも外国にまよつて居てはいけません。思ふのです、どこで布教を日本人の手でなす前に入会しますと云つしやいになつた、学園を去るお友を先生におろかかかいます。始めは馬鹿馬鹿しいと云はれなかながらいつてはくれなかつたが最後、次の様にお話になつてくれな。

田に対して「安は上から下にくだる」様に神も同じで有る。『或る聖人が聖マリアに対して「私は貴女を愛して居ます」と。私は貴女を愛して居ます」と。私は貴女を愛して居ますよりもつともつと貴女を愛して居ます」と。』

吉川先生も又この様に……「僕が去るとせいせいする人も居るかもしれませんが、又僕が去ると困ると云ふ人が居ますと

さい、出来るだけ先生方と一緒に交つて立派な成業と人格を作りますように。』

文に在校生代表として三年日組が出て新入生に対して挨拶した。このころには、やつと新入生の緊張も緩和とけて来たようである。その他に栄光学生会長のお話もあり、一年A

君が答辭を讀んだ。身にあまるほどの大きな紙を繰返し、後校長先生に手渡した。そしてヘルグエク先生は、山さな規則も忠実に守ることは、決して小さな問題では無いと云うこと

僕はその人がつらいよりも一層つらいのです。先生は東京の聖町の聖光大学のそばで生れ、そこを言いました。そして先生はこの場所が大変いいところなんです。しかし今はたつた二年間の生活では有りませんが、こちら（栄光学園）の方が本場の故郷の様に思はれるのだそうです。僕達はこの話による先生の僕達に対する大きな愛情に対して新たな感謝をささぐべきだと思ひます。先生は広島へ行つてからは二年間初期修練をし、その後三年間修練を勉強してそれから又中間修練を三年間最後に神学を四年間勉強し初めて司祭になれるそうです。吉川先生が学園から去つて行かれるのは僕達にとつては大変悲しい事です。しかし吉川先生の輝かしい将来の成果を考えると見れば僕達は先生の新しいいかでを祝福し先生の類が一刻でも早くかなう様に祈るのが本當の栄光生徒の精神だと思ひます。

を説かれた。その後英語の校歌を歌つて式を閉じた。

卒業式

「善眼をばおぼえず。」とはうまく云つたものである。とかく善はねむらぬものである。しかし文字律たる卒業式はそんな時でもやらないわけにいかない。だからわが栄光学園中学校における卒業式も、この時に行われ、即ち三月二十一日午前九時から行われた。この日は卒業生一同待ちに待つて日だつた。だから、善眼とは云うものの旨※

主よみがえりぬ

「永遠に生きたい」と言う全人類の望みを實現するところの道を私達に示すためにこの世に降りてもう主イエズス、キリストは苦しい十字架の死をとげられたが、ついに三日目に大いなる栄光の中に復活されたのである。全世界のキリスト者はもろろのこと、多くの人々の喜びの日であるこの御復活祭は本校聖アロイジオ教会を荘厳に行われ、禮も斎用とめつきり香らしくなつて當日、八時より校長先生及次ヘルブエック先生によつて第一A戸川君、高一B鈴木博武君の家族の方々をはじめ十四名の方々が購れて洗礼をさづけられた。それにつづいて莊嚴ミサが舉行された。オルガンの音は聖堂をうめつくした多くの信者の祈りと合致して、主イエズス、キリストの復活を告げることく聖堂内をゆるやかに流る。御ミサはこのような雰囲気の内、喜びと栄光に満ちて行われ、

保土ヶ谷古墳

高一

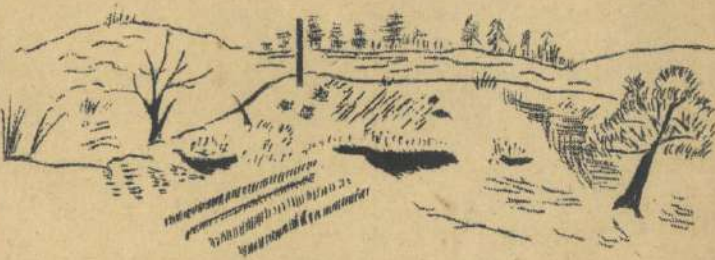
一月二十二日東京博物館考古学部主催で、保土ヶ谷古墳発掘が行われた。本校旧三、二年生の有志が見学し、ついでに発掘を手傳つた。この古墳は保土ヶ谷駅より徒歩約十分の小高い丘の上にあり、附近には同じような丘がいくつとなく散在しており、おとりにはいかなるなまなま屋がちらばつてゐる。この古墳は屋根の端の尾根のゆるやかな傾斜に、自然丘陵の頂を利用して築造した墳墓である。かような場合、前方部は屋根の突端に向くのであるが、この古墳は方向が反対で、後部部が突端に向き、いわばみはるかす平地を背にした構造である。これは前方後円墳の方向として、珍

スポーツの春

バドミントン

「花咲き、鳥歌う」楽しい季節が来ました。体を太くするには、今、良い運動をすることです。そこで一つ、バドミントンについて熊野先生に伺つて見よう。

バドミントンは英國で始められ、現在は米國にお好まられる形である。その起源は土人が足の裏で、羽のついたボールを蹴つていたのを



い例だとうである。発掘部の大部分は、円筒形で、これらは封土の内部に、前方後円形の形をなして立並び、墳墓の外形をか

てヒントを得たのである。日本の羽根つきを合理化したものと見え、よい、このスポーツのよい点は若い者も年寄りも出来る、室内空外を問わずできる事である。

一九四九年三月三日、四日、五日の三日間ロンドンのヘリンゲイ体育館でこの試合が行われ、デンマーク代表のスカラツア隊が優勝した。

世界で最も盛んな國々はアメリカを始め、カナダ、イギリス、デンマーク、スウェーデン、

立ちづくつてゐる。外部の第一列の運搬群の内側に、ふたまたぎ一列の運搬群があり、さらにまた中央に近く、一列の運搬群がある。つまり前方後円墳の中央線と対照の軸とみたところ、三対の円筒運搬群が整然と並んでゐるわけだ。その他、人の顔、馬、鹿などの形象運輪も発掘された。この円筒運輪の列は奥にみごとく、殊に後部部はふれあうごとく、固に立ち並ぶ。前方部では、五十七センチ程の距離をおいて、発掘された。前方部の向つて左側には埋没品が少なかつた。後部部の中央頂上から、今のところ日本で最大と思われる、象形運輪が掘りだされた。また後部部には、人体を小さめした石棺があるはずとの推論のもとに、大男を懸念に作業したが、ついに石棺はみあたらずなかつた。が、象形運輪の出たところ、つまり、後部部頂上に木棺がうめつたが、朽ちてしまひ、後世になつて、盗掘されたものではなかつたかと推定され

ノールウェー、フランス、マレー、オーストリア、ニュージーランド、南アフリカ、インド、中國等である。

最近日本にも取り入れられ、現在全日本代表選抜競技大会へ回帰競争選手権、全日本都市対抗競技大会へ動員社会人団体等の公式全国大会が行われている。

歴史で高尚な若男女の近代

た。前記の家形運輪は製鉄品のたぐいであろう。この古墳の築造年代は五世紀の中期或は後期だと考えられてゐる。古墳時代は四、五世紀であつて、六世紀以後は、このような前方後円形式は見られない。有名な仁徳天皇陵は、五世紀初期の物であるが、この古墳は仁徳天皇より時代がくだるであらう。政治や文化の中心である大和と、近畿の保土ヶ谷の地とは、文化差があらう。したがつて、この地には、六世紀になつても、かような墳墓が構築される可能性がまだ地方には、勢力ある豪族が残つてゐた。この保土ヶ谷古墳もこの地方の豪族の、おくつさどころであるにちがいない。

今の世でも人が死ぬと、人々はその人の身分や位に相應した墓を築く。昔もこれと同様で、地方の勢力者は、死後、このような墓にほうむられたと考へるのが至当である。そして、この豪族はこの地方を独立して、たのでなく、何等かの形で、大和朝廷に隷属してゐたと考へられる。僕はこの大きな古墳を見て、古代日本人の勢力、気力の強さに感心した。日本人の本當の尊厳は、歴史は深く、研究する事によつてのみわかると思つた。

そして、その研究の大きな教科書たる古墳等、遺蹟、遺物の尊厳を痛切に感じたい。

五月は「聖母マリアの月」なので本校でも毎夜聖母信者と研究者が聖堂で祈りを捧げる